愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育内容（環境）		
担当者(Instructors)	梶浦 恭子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

幼稚園教育要領に示された保育内容領域「環境」のねらい及び内容について理解を深める。幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえ、領域「環境」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する指導計画方法を身に付ける。また、視覚教材やICT学習によって、領域「環境」において幼児が経験していく内容、他領域との関連、幼稚園教育における評価の意義、保育実践の動向や現代的課題等を理解して、保育構想の向上へと取り組む力を習得する。なお、オンデマンド授業となった場合の質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	映像や資料を活用し、乳幼児期の発達の特性をふまえた各場面における援助指導の理解となる展開をする。1.事例を基にディスカッションし、子どもや教師の表現理解をする。2.グループワークによって思考を整理してテーマ内容をプレゼンテーションする。３.調査課題や計画案は模擬保育の実践・振り返りを通して、自己課題の発見と保育の改善策を明確に示す姿勢を身につける。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	領域「環境」とは 幼稚園教育の基本、資質・能力、育ってほしい姿	・領域「環境」のねらい、内容、全体構造の理解 ・予習：「自然との触れ合う」「発見を楽しんだり,」「物の性質や数量,文字･･の感覚を豊かに」とは	□
第2回	3歳児の保育を視聴覚映像から学ぶ 観察実習を想定し、私は何を観察するのか	・ビデオ映像（3歳児） ☒　予習と「環境構成」「保育者の援助」に着目して ・絵本「三びきのやぎのがらがらどん」と劇遊びのビデオ視聴と意見交流 ・小テスト☒　参加したい保育内容場面	□
第3回	自然環境という身近な生き物や植物に親しみを持ってかかわる	・著書『センス・オブ・ワンダー』の内容とは ・生き物の飼育と留意点 ・予習：領域「環境」の内容12項目と幼少期の遊び	□
第4回	領域「環境」のねらいと内容	・5領域の中の「環境」と領域「環境」がめざすもの ・「内容の取扱い」について ・予習：「かがく絵本」の見どころ場面の留意点	□
第5回	「育ってほしい姿」と領域「環境」	「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」の意味や遊びの内容を理解する ・予習：かがく絵本読み聞かせ「部分指導案」	□
第6回	5歳児担当教師と子ども（視聴覚映像）の動きから 5歳児担当実習生の立場で参加した学び	・ビデオ映像（5歳児）計画的な人的、物的環境 共同画活動の導入　環境の準備物　5歳児の砂場遊び場面　すき間時間の活用技術 ・小テスト「主活動の導入と展開とまとめ」について	□
第7回	指導案作成について：－4歳児クラス6月の部分実習案(主活動10時50分～11時45分給食前)を考えよう－	・幼稚園教育要領 保育内容「環境」、●▲幼稚園の教育課程等を参考に個々に立案する	□
第8回	「自然」との触れ合い、「発見」を楽しむ、「物の性質や数量,文字･･の感覚」を豊かにする「ねらい」と「内容」	・演習計画案（3,4人グループ内にて「ねらい・内容」「導入・展開・まとめ」案の確認をする	□
第9回	日常生活の中で行事に親しむための指導案計画 ・行事の保育指導案計画案を立案する（部分指導）	・行事の保育指導案計画案を立案する（部分指導）から模擬保育の実践	□

第10回	日常生活の中で行事に親しむための伝承と文化とは ・3歳児も参加する伝承行事、文化(記念日)へのかかわり	・視聴覚情報機器利用の具体、教材の活用内容の具体的な提示 自然物の影絵、パネル、エプロンシアター、指人形、を扱う保育教材の効果的役割を理解する	□
第11回	日常生活の中で行事に親しむための自発的につながる保育内容とは ・4歳児（5歳児）が自発的に参加する社会的行事へのかかわり ・日々の保育からつなげる誕生日会へのかかわり	・指導計画の作成手順（５つ） 子どもの姿と保育のねらい　保育内容	□
第12回	グループワーク後－視聴覚機器による演習：指導案の実践、発表手順の説明：模擬保育その1	・保育者の専門性（指導計画を作成手順） 幼児理解と予想する幼児の姿　環境の構成　教師の指導　援助	□
第13回	視聴覚機器による演習：指導案の実践記録、ふり返り、受けた指導・助言の説明：模擬保育その2	・保育と行事　部分保育なら造形表現：季節の壁面構成、季節の行事（アジサイ祭、運動会遊び、お月見）、日常の鬼遊び、クイズ遊び	□
第14回	視聴覚機器による演習：指導案の実践、 ：模擬保育その3	・幼児の特性や計画的な環境の構成とは 導入、展開、まとめ　ねらい　教師の言葉　幼児の姿を予想する	□
第15回	授業内レポート 確認テスト ・後期授業を振り返る	・幼稚園（援助）と小学校（指導）の違いを発見しつながりを理解する ・提示資料や事例を基に、現代の教育・保育現場に存在する課題の主張・意見	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前課題は、教科書内容（幼稚園教育要領や参考文献）から専門用語を読み取り、プレゼン準備のためノートに書きこむ事前学習を（2時間）する。各コマの到達目標（内容）は、事前に図書館文献資料を提示し調べ、整理をして作成したものを基本に進める。授業準備は個人（練習）で行い、事後（2時間）ノート見直しと課題整理を行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出されたレポートは、添削・採点の上で返却する。典型的なレポートは紹介し、フィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	**◆ 2019子ども発達DP2**	現代の教育・保育の現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことができる力強い思考力・判断力を持ち、豊かな表現力を習得できている

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

●テキストや提示資料を基本に、授業から学び得た内容のまとめの、小テストやレポートの記述・発表ができる（50）
●身近な素材を活用した視覚保育教材（例：ペープサート）の提示・表現行動と指導案を提出する(30)
●模擬保育の実演と振り返り、受けた助言・自己課題の自己評価のまとめができる（20）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	前期と同様 「演習　保育内容　環境」　岡 健 編著 建帛社	978-4-7679-5101
2	「幼稚園教育要領解説」（文部科学省）フレーベル館	978-4-577-81447-5
3	「幼稚園教育要領」（平成29年3月告示　文部科学省）	978-4-577-81422-2
4	幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド	978-4-907270-19-3
5	実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド	978-4-907270-15-5

■参考図書(references books)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	映像で学ぶ幼稚園認定こども園教育実習のための指導案と日誌の書き方	
2		
3		
4		
5		